

第三次北本市障害者福祉計画（中間年の見直し）（案）に対する意見一覧 （パブリックコメント結果の公表）

番号	意見の内容	市の考え方
1	<p>様々な機関が一丸となって事業を進められていることが理解できたと同時に、昨今の感染症情勢で事業を思い通りに展開していくことに苦慮されている様子が感じられました。</p> <p>それぞれの目標や方針について関わる機関から意見を募るといったことは行っているのでしょうか？当事者側の調査の結果は書かれていましたが、支援者側の意見についてはあまり触れられていなかったように思います。当事者側にいろいろ思いがあるように、支援者側にも思いがあると思っています。窓口も支え手も急に増やすことは難しい中で、“できること”、“難しいこと”を共有していくことにより次の目標に向けてのよりよい取り組みつなげられるのでは？と考えます。</p> <p>また、市民ひとりひとりが、「障害者福祉は行政や関係機関だけが取り組むものではない」ことを啓発できれば良いな、と思います。</p> <p>基本理念や、目標については、「こうなったら本当にいいな」と思うものばかりでした。いち市民として、何かできることを考えて行動していきたいと思っています。</p>	<p>ご意見にありますとおり、障がい福祉を推進していくためには、市民、関係機関・団体、行政が協力し連携を図りながら取り組んでいくことは、大変重要であると認識しております。</p> <p>日頃からの取組として、関係機関等で構成されている鴻巣・北本地域自立支援協議会を活用して、地域課題の把握に努めております。</p> <p>また、計画の策定手続きとして、本計画のアンケート調査を兼ねて、第六期障害福祉計画及び第二期障害児福祉計画策定時に、市内の障害福祉サービス事業者を対象にアンケート調査を令和2年6月に実施し、現状の課題等の把握を行いました。</p> <p>そして、地域及び福祉関係団体の関係者、医療関係者の代表者や学識経験者、公募の市民等から構成されている策定委員会を令和3年8月に設置し、本計画の策定に向けて検討を重ねてきました。</p> <p>関係する多くの方々との連携を図るとともに、市民の皆様とも協働で取り組めるよう啓発を行いながら、基本理念に掲げる「支えあい、ともに暮らしあうまち 北本の実現」に向けて、計画の着実な推進を図ってまいります。</p>